

第2回 議員活動報告会



大好きな根室の為に
誠実・勇気・挑戦

日時：平成22年2月23日（火）

会場：根室市総合文化会館第二講座室



2009年12月から2010/2月までの主な議員活動

【2009年12月】

- 12月01日 12:00 北方領土返還要求行進アピール行動（東京都）
- 12月04日 13:00 第4回 根室市議会 定例会 議案各会派説明
- 12月07日 15:00 一般質問通告期限
- 12月08日 09:30 議会運営委員会
- 12月15日 10:00 **第4回 根室市議会 定例会**
～19日
- 12月21日 13:30 病院建設に関する特別委員会
- 12月22日 08:30 文教・厚生常任委員会施設見学(視察)

【2010年01月】

- 01月04日 11:00 新年交礼会
- 01月07日 10:00 根室市消防出初式
- 01月10日 13:00 根室市成人式
- 01月13日 10:00 文教・厚生常任委員会協議会
- 01月21日 10:00 病院建設に関する特別委員会理事会
- 01月26日
から29日 文教・厚生常任委員会 市内福祉・介護関連施設の視察
- 01月27日 10:00 病院建設に関する特別委員会

【2010年2月】

- 02月02日 13:00 平成22年度予算重点施策について各会派説明(無所属)
- 02月07日 10:00 2010「北方領土の日」根室管内住民大会
- 02月08日 10:00 病院建設等に関する特別委員会理事会
- 02月09日 18:00 ねむろ医心伝信ネットワーク会議・講演会
- 02月10日 10:00 文教・厚生常任委員会協議会
- 02月13日 17:30 バードランド・フェスティバル・レセプション(スワン44)
- 02月14日 08:00 ニムオロ冬の祭典ハートランド・フェスティバル
- 02月17日 15:00 平成21年3月補正及び新年度予算について各会派説明(無所属)
- 02月18日 11:00 根室市漁船員永年勤続者表彰式
- 02月23日 13:30 根室市青少年問題協議会

12月議会（第4回定例会）一般質問

- 観光振興ビジョンについて
 - － 観光振興施策のこれまでの取り組みについて
 - － 今後の観光振興推進ビジョンと観光振興計画等の具体的指針の策定について
- 産業振興と活性化推進のための「情報発信基地づくり」について
- 市立根室病院改革プランと新病院建設について
 - － 改革プランに掲げる改善目標項目の実施状況と今後の取り組み
 - － 改革プランの新病院建設事業への影響
 - － 新病院建設基本設計と収支見通し等積み残し課題について
 - － 市民参加の病院建設について

新病院建設事業の進捗状況

基本構想・基本計画(H21.7)

※市議会条件付きで承認

新病院の役割と位置付け

- ① 地域センター病院としての機能・役割
- ② 二次医療機能の充実
- ③ 遠隔医療システムの活用による医療サービスの向上
- ④ 保健、医療、介護の機能分担・連携による包括的サービスの構築
- ⑤ 地域医療機関との医療連携の構築
- ⑥ 医療活動の充実
- ⑦ 産婦人科医師体制の充実
- ⑧ 市立根室病院事業改革プランの着実な推進
- ⑨ 北方四島を含めた北方四島医療拠点病院としての位置付けへの取り組み

18診療科目

内科、循環器内科、呼吸器内科、
消化器内科、外科、消化器外科、
リハビリテーション科、小児科、眼科、
泌尿器科、整形外科、耳鼻咽喉
科、産婦人科、皮膚科、麻酔科、
放射線科、心臓血管外科、脳神
経外科

病院建設事業費(基本設計) 5,928百万円

病床数 150床

基本設計(H21.10-H22.3)

条件とした検討事項

- ・療養病床について
- ・建設費用を含めた病院会計の収支計画
- ・一般会計繰入金

※2/23現在

市担当部局から資料提出
されていない。

実施設計(H22)

実施設計等の予算額 106百万円 H22年度当初予算措置予定

建築(H23.2-H24.8)

新病院開院(H24.6)

新病院建設の財源対策問題

建設費用5,928百万円に関する財源対策

・医療施設耐震化臨時特例交付金 1,191百万円 H21.12交付決定

・まちづくり交付金 5~6億円(?)と検討・協議中

※都市再生整備計画の策定が必要

※一事業一補助金の原則がある。

・病院事業債及び過疎対策事業債 約40億円 (各50%)

※起債全体の46.25%が交付税措置)

・補助金 (医療機器等に関する補助金の活用) 40百万円程度

・寄付金 約85百万円

・一般財源(実質的な単年度負担額) 約60百万円

建築費 21.5億円 **30年償還**
内 約11.5億円を一般財源措置
年間約55百万円の償還財源

機器等 18.5億円 **10年償還**
内 約10.0億円を一般財源措置
年間約150百万円の償還財源

+

病院特例債 10.4億円 **7年償還**
年間約160百万円の償還財源
(H21からH27までの7カ年)

最大年365百万円の財源

平成22年度当初予算ベースの一般会計繰入見込み 877百万円 + 205百万円 = 10 億円を超える
一般会計繰出金
(当初予算の繰出額には特例債償還約160百万円含む)

入院患者数 111.6人 外来患者数 598.3人 医師16名体制

新病院建設の財源対策問題

解決策

将来の財源負担をできるだけ軽減

- ・ 病院建設費用の圧縮
- ・ 病院規模の再検討と不採算地区病院に対する特別交付税措置の活用
100床を基準に1床当たり1,230千円の措置 ※150床では措置対象外
現在、常勤医師16名体制では、入院患者数は120名程度が限界
150床から120床に病床数を落とし不採算地区病院の交付税措置約74百万円を受けられることができる。
※100床超の場合逡減措置があり、120床の場合60床と同じ措置額 $= 1,230 \text{千円} \times 60 = 73,800 \text{千円}$
- ・ 改革プランの着実な実行と経営改善を踏まえた収支計画の策定

	入院患者数	外来患者数	医業収益	医業費用	一般会計出
改革プラン21年度	115.5	637.0	3,028	3,411	746
21年度決算見込み	96.5	575.0	2,786	3,707	1,223
差引増減額	-19.0	-62.0	-242	296	477

※この乖離の原因分析を行い更なる経営改善に取り組まなければならない。

- ・ 安定した医師招へい対策及び看護師確保対策

市立根室病院の病床数・配置医師数・入院外来収益の推計(参考)

※改革プランをベースに病床利用率 80%とした場合の収益見込み

	病床数(床)	患者数(人)	病床利用率(%)	日数	年間収入(千円)
入院	150	120	80.0	365	1,752,000
外来	-	600	-	244	1,171,200
合計収益					2,923,200

入院単価	40,000円
療養病床	16,000円
外来単価	8,000円

※必要医師数

	入院患者(人)	標準(人)	標準医師数(人)
一般病床	120	16	7.5
外来(一般)	520	40	13.0
外来(眼科等)	80	80	1.0
合計医師数			21.5

現地改修であれば、この条件は不要

※病床数を120床に削減した場合の収益見通し

	病床数(床)	患者数(人)	病床利用率(%)	日数	年間収入(千円)
入院	120	115	95.8	365	1,679,000
外来	-	600	-	244	1,171,200
合計収益					2,850,200

不足額	73,000千円
交付税措置	73,800千円
実不足額	-800千円
必要入院患者数	-人

【医師の体制】

	入院患者(人)	標準(人)	標準医師数(人)
一般病床	115	16	7.2
外来(一般)	520	40	13.0
外来(眼科等)	80	80	1.0
合計医師数			21.2

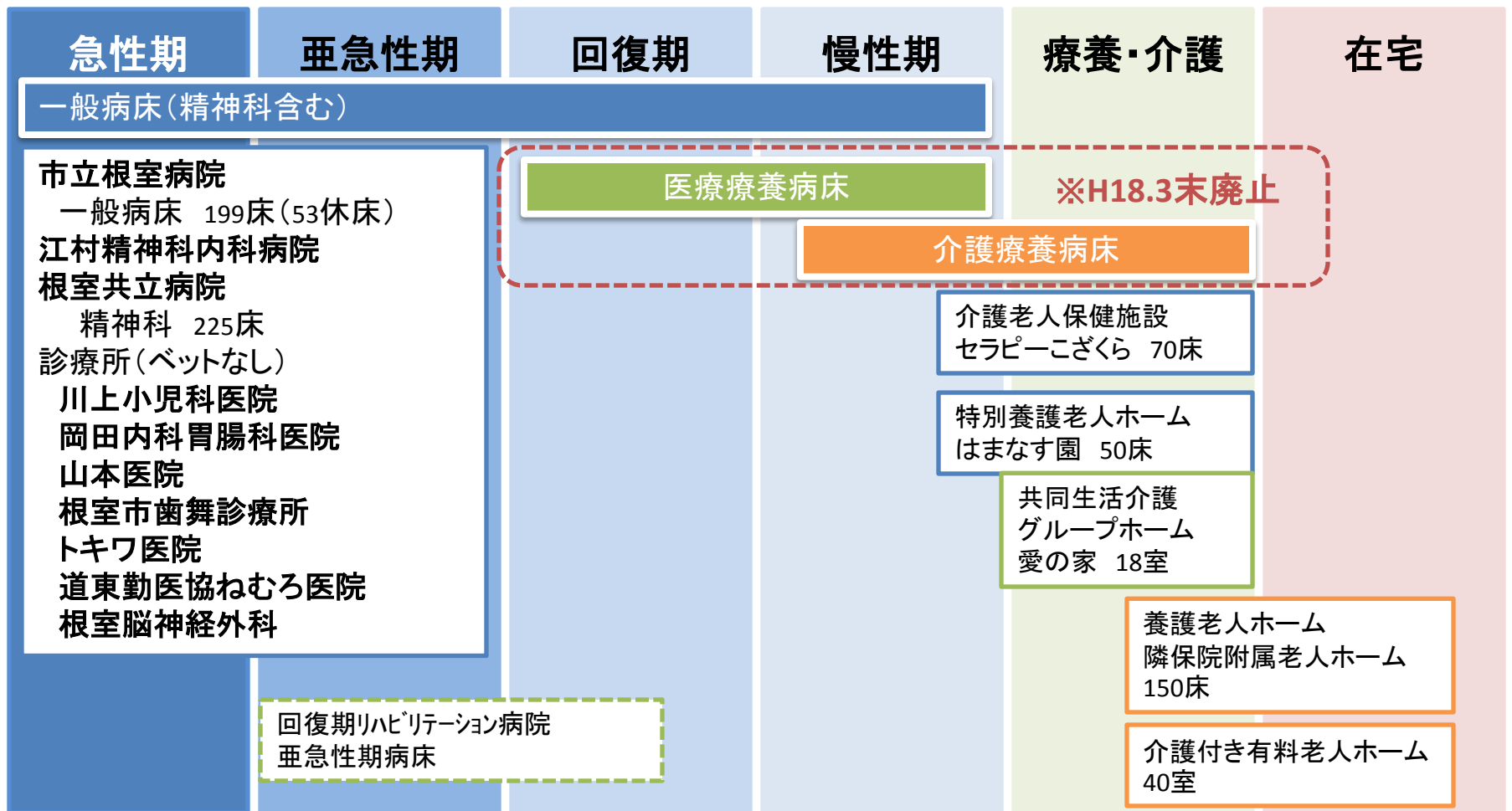
※病床利用率95.8%(115名の入院患者)

※不採算地区病院の要件をみたすことによる交付税措置

※上記により150床(病床利用率80%)と同額の収益確保が可能

療養病床の問題について

根室市内の医療・介護施設の状況



療養病床の問題について

療養病床は誰が担うべきなのか？

- ・進む高齢化社会の中で、療養、介護施設の不足への対応が必要
- ・高齢化社会の中で慢性疾患やターミナル患者への対応が必要

急性期

回復期

慢性期

急性期一般病床
市立根室病院

医療療養施設

亜急性期病床

回復期リハビリテーション病院

医療保険適用施設
介護認定は不要

介護療養型施設

H18/3まで隣保院

介護老人保健施設
セラピーこざくら

介護老人福祉施設

特別養護老人ホーム
グループホーム

養護老人ホーム
有料老人ホーム

介護認定が必要
な施設

医療療養病床は医療の枠組み中で検討すべき

介護療養型医療施設→介護老人保健・福祉施設へ

療養病床の問題について

市立根室病院の役割として

地域センター病院として急性期患者への対応

(地域センター病院、救急告示病院、災害拠点病院、市内唯一の総合病院)

さらに進む高齢化社会の中で…

療養、介護施設の不足への対応

急性期に入院して元気になった、介護・支援が必要
受け入れてくれる介護・療養施設が見つからない。

市立病院への社会的な長期入院

高齢化社会の中で慢性疾患やターミナル患者への対応

市立根室病院東浦院長の講演資料より

- ・ 一般病床150床 → 一般病床＋療養病床への見直しが必要
- ・ 訪問診療・訪問看護の充実

平成22年度予算編成概要

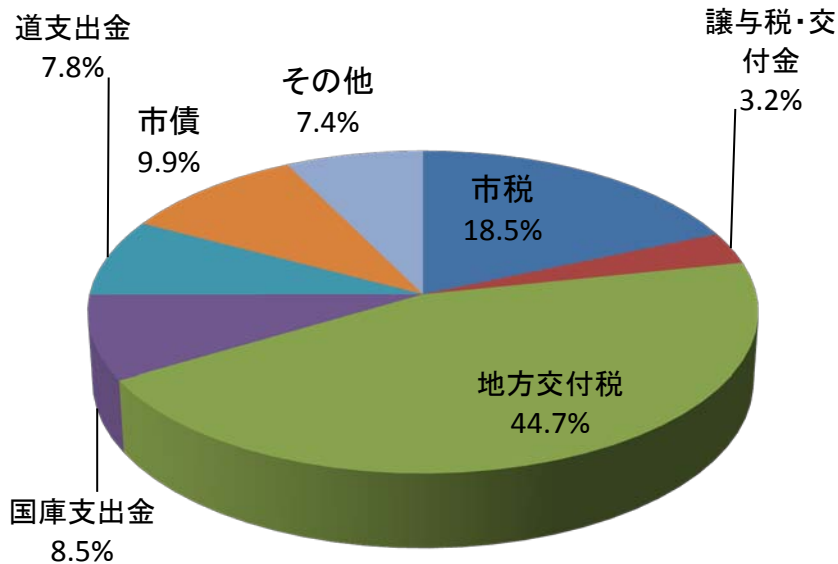
- 市中経済情勢の長期低迷や人口減等による市税収入の減
- 少子高齢化などによる社会保障関係経費の増
- 国の地方主権改革により地方交付税総額が増額したことにより財源超過
- 「新病院建設」、「循環型社会形成推進事業」など新たな行政需要への対応、H23年から始まる公的資金借換の元利償還に備えた給与費の抑制、減債基金への積立等「財源対策」を行った。



H17年以来5年ぶりの150億円を超える予算規模(154億98百万円)

平成22年度一般会計歳入歳出予算

歳入予算構成

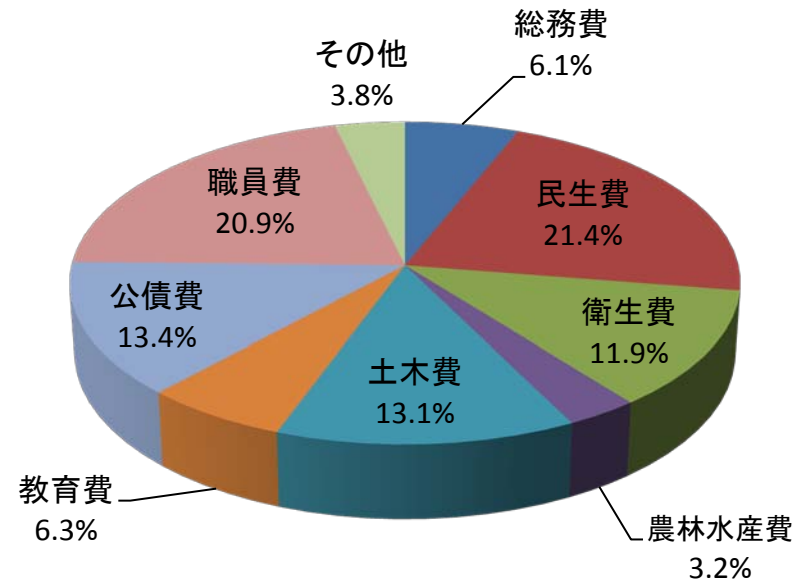


市税	2,874,339
譲与税・交付金	497,064
地方交付税	6,933,045
国庫支出金	1,313,335
道支出金	1,206,045
市債	1,530,691
その他	1,143,481

自主財源 4,017,820千円
(25.9%)

依存財源 11,480,180千円
(74.1%)

歳出予算構成



総務費	944,580
民生費	3,315,083
衛生費	1,843,187
農林水産費	488,732
土木費	2,025,855
教育費	975,736
公債費	2,083,076
職員費	3,239,962
その他	581,789

平成22年度一般会計歳入歳出予算

一般会計主要事業

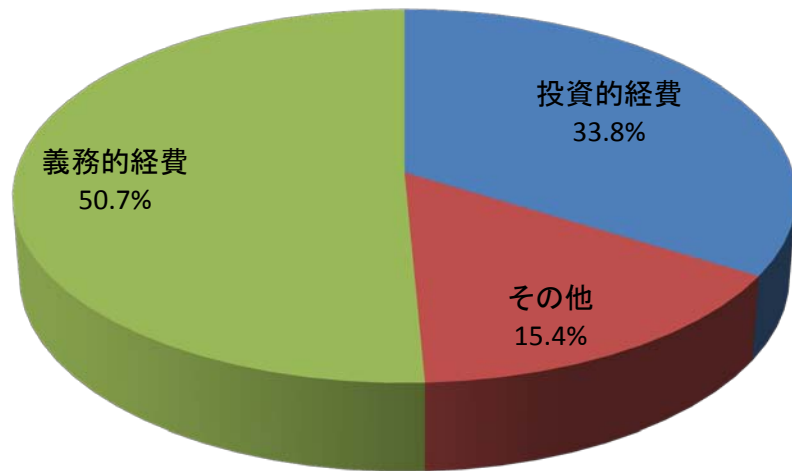
- | | | | |
|------------------|-----------|-------------------|-----------|
| • 戸籍電算化事業 | 84,800千円 | • 市営住宅整備事業 | 676,760千円 |
| • 根室花咲テレビジョン整備事業 | 39,359千円 | • 根室港港湾整備事業管理者負担金 | 240,000千円 |
| • 循環型社会形成推進事業 | 81,000千円 | • 道路舗装新設事業 | 44,440千円 |
| • 子ども手当支給経費 | 531,120千円 | • 消防車庫等新築事業 | 135,299千円 |
| • 根室産業元気づくり事業 | 13,092千円 | • 放課後対策整備事業 | 30,613千円 |
| • ねむろ水産物ブランド推進事業 | 17,000千円 | | |
| • 観光事業振興経費 | 9,217千円 | | |
| • 若年者等雇用促進支援事業 | 10,111千円 | | |

病院事業会計主要事業

- 新病院建設(実施設計委託)
106,166千円

平成22年度一般会計歳入歳出予算

歳出予算額の構成



投資的経費	5,245
その他	2,390
義務的経費	7,863
人件費	3,654
扶助費	2,126
公債費	2,083
合計	15,498

投資的経費の内他会計繰出金

(単位:百万円)

市民交通傷害共済会計	0.3
国民健康保険会計	339
老人保険会計	0.1
介護保険会計	226
後期高齢者医療会計	99
水道事業会計支出金	28
病院会計支出金	877
汚水処理会計繰出金	17
港湾会計支出金	55
下水道会計支出金	606
合計	2,246

※投資的経費に占める繰出金 42.8%

平成21年度3月補正予算

【一般会計】 824.6百万円の増額補正

・国の「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」による事業 141.6百万円

温根沼会館(みずどり)の改修事業 15百万円

郊外地区の簡易舗装事業 30百万円

根室港区2号水産上屋屋根改修工事 25百万円

消防庁舎移転による旧第2庁舎改修事業 82百万円

パークゴルフ場駐車場整備等事業 8.9百万円

・光洋中学校行校舎等の耐震補強工事 263.6百万円

・病院会計支出金 415.6百万円

病院事業会計単年度収支不足解消のための補助金

※平成21年度の支出金総額 1,222.9百万円